

神海丸通信



実習目標 (MVPを目指そう!!)

Mission (与えられた事に対して常に使命感を持ち取り組む!)

Vision (全てにおいて先を見据え、考えながら行動をする!)

Passion (この状況下の実習を情熱的に全力で取り組む!)

～ 特集 ～ マグロ操業って何をするの？

今回の神海丸通信では、マグロ操業実習について紹介しようと思います!!

Q 投縄作業ってどんな仕事？



マグロの幹縄（約100キロ）に50～60メートル間隔におよそ1700本の枝縄（鋼製の釣り針）が連結されおり、その枝縄に餌（サバ）などを付けて海に縄を入れる作業です。生徒は枝縄（プラン）を出しコンベヤーに綺麗に並べたり枝縄の途中に入れるブイ（浮き）を用意したりします。縄入れだけに3時間（朝5時～8時頃）かかる根気のいる作業です。投縄が終了してから揚げ縄が始まる時刻（14時頃）までは「流し」と言い、船のエンジンを停止してしばらく太平洋上を漂います。この間の当直のことを「流し当直」と言います。

Q 揚げ縄作業ってどんな仕事？



黄色ヘルメットが実習生。右舷側より仕掛けを取り入れます。

先ほど上で説明した幹縄を船体に取り入れる作業です。幹縄をラインローラー（縄を巻くための漁労機器）で巻き上げ、幹縄より枝縄（プラン）を外す作業です。プラン巻きは危険な作業ですので船員さんがメインで行います。マグロやその他の魚がかかると船員さんたちが威勢のいい声で「いらっしゃい!!」と叫びます。生徒の作業としては、もつれた枝縄（プラン）を直したり、ブイ（浮き）を運んだり、上がってきたマグロや魚の体長をノギスで測定、体重測定、魚を製品にするための作業（血抜き、魚体を洗う）等を行います。この作業が一番長く、約8時間にも及ぶ作業です。（生徒は2交代制で作業にあたります。）

Q 冷凍作業ってどんな仕事？



揚げ縄作業で上がってきたマグロを素早く製品処理して冷凍庫（魚倉）に運ぶ作業です。翌日には前日釣ったマグロを冷凍長（冷凍作業の責任者）をはじめとする冷凍員の方と魚倉にうまく整理して積んでいく作業を行います。魚倉の中はマイナス60℃…。極寒の世界です。魚倉の中に入るときは完全防備で挑みます。マグロ操業の大まかな作業はこの3つとなります。